

第 1 回懇談会における主な意見

(1) 共通認識を持つべき事項に関する意見

プラスチックの基礎知識

- ・ プラスチックリサイクルの今後の方向性
- ・ プラスチックリサイクルの特性としての水平リサイクルの可能性
- ・ プラスチックリサイクルのライフサイクルアセスメント

食品の容器包装の特性

- ・ 食品の容器包装の有する機能、必要とする機能の知識

(2) 現行法制度の問題点、見直しに対する意見

再商品化の定義

- ・ ケミカルリサイクルとしてガス化した後、熱回収・焼却したのもも再商品化として位置づけられているため、再商品化の定義付けが必要

分別・回収のあり方

- ・ リサイクル適性に応じた分別・回収方法を検討すべき
- ・ 何を目指した分別・回収なのか前提条件を確認すべき

各主体間コミュニケーション

- ・ 容器包装の分別手法が未だに消費者に良く理解されていない
- ・ 消費者が考えているリサイクルと容リ制度でのリサイクル実態は異なる

その他

- ・ バイオプラ導入促進、容リ法に低炭素化社会の推進を入れ込むこと
- ・ 法（運用等を含む）が難しすぎる。法の見直しはシンプルにすべき
- ・ 分別回収したリサイクル資源の海外流出を防ぐことが必要
- ・ 食品残渣の処理の対策が必要
- ・ 食品業界として、中小企業向けの包装の適正化ガイドライン策定が必要